

樋口ゼミ 音楽マネジメント系

先生の紹介

名前 樋口 裕一 先生
ひぐち ゆういち

職歴

作家。アフリカ・フランス文学翻訳家。京都産業大学文化学部客員教授。「白藍塾」塾長。翻訳業を続けながら予備校講師として教壇に立ち、大学入試小論文の指導にあたる。現場で接する若者たちの学力低下、思考力減退に危機感を抱き、日本の教育問題について発言を続けている。小学校5年生の頃からクラシック音楽に親しみ、ベートーヴェンの交響曲第九番のCDを200枚以上、ワーグナー『トリスタンとイゾルデ』を40種類所有するほどのファン。ゴールデンウィークに東京で開かれる「熱狂の音楽祭」ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンのアンバサダーを務め、音楽評論家としても活動。また、東ドイツ(当時)をはじめとする東欧6カ国、カンボジア、朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)を含む30カ国を訪れた経験をもつ旅人でもある。

(樋口先生のオフィシャルサイトより)

先生の性格

ベストセラー作家である樋口先生は、1年生には文章伝達入門の授業でおなじみだと思います。授業を受けただけでは、「厳しい」「ちょっと怖い」などと思う人が多いのではないかでしょうか。しかし！ゼミの時間は全くそんなことはありません。偉大な先生ですが、偉そうなところは全くなく、むしろゼミ生には気さくに話しかけてくれる、とても素敵なお先生です。また、お忙しい中、飲み会などにも積極的に参加して下さり、仲良くお話しして下さい。（お金も援助してくれます！）意外にも機械に弱くて、いつも教室にあるプロジェクターを動かすのに苦労しているという、チャーミングな一面も持っています（笑）そんな樋口先生についていきたい！という方は、このゼミに入ることをお勧めします♪

具体的な勉強・活動内容（学外活動も含む）

樋口ゼミの目的は「若い人たちにもクラシック音楽を広めよう！」ということです！今まで私たちは

- ・多摩大学内でのクラシックコンサート
- ・パルテノン多摩での20周年記念コンサート
- ・白寿コンサートでのジブリをテーマにしたコンサート

これ以外にも現在は企業とのコラボでのコンサート企画や、自分の好きな楽曲についてのプレゼンテーションを行っています！

アピールポイント

何といっても、このゼミに入ると・・・

- ・なんといってもみんなが仲良し！金曜の5限終了時にみんなで飲みに行ったり遊びにいったりしちゃいます♪
- ・生でトップレベルの演奏が聴ける！

また、時々先生からレベルの高いコンサートのチケットも貰えるかもしれないです…。実際に生で聞くと、曲を知らなくても鳥肌ものです。この感動を多くの人に味わって欲しいので、ぜひ樋口ゼミを候補の一つに入れてみてくださいね♪